

文部科学省先端研究施設共用促進事業  
信州大学 「ナノカーボン産業拡大の為のカーボンバレー構築支援事業」  
平成 23 年度 支援利用成果報告書

平成 24 年 5 月 21 日

所 属 オルガン針株式会社 技術開発本部  
職 名 製品開発部 製品開発課  
氏 名 よりがな坂口 さかぐち としただ敏忠  
所在地 〒386-1211 長野県上田市下之郷 1077-1  
TEL 0268-39-0115  
FAX 0268-39-3056

1. 課題番号 23-76
2. 利用課題名 摺動性、耐摩擦性の向上を目指しためっきの開発
3. 採択事業 「トライアルユース①」
4. 利用施設名 ナノカーボン・デバイス試作・評価装置群
5. 利用の目的・内容

表面処理による、摺動性、耐摩擦性の向上を目的に、当社独自の表面処理の開発をおこなっている。その処理後の表面の添加物などの状態を厳密に評価すると共に、これを精密に制御することによって特異な摺動性、耐摩擦性を発現させ、新たな機能性材料として提案しようとするものであり、当社で作製した表面処理品から共用装置を利用して特性評価を行いこれからの開発へ反映することができた。よって、平成 24 年度において継続して支援利用（トライアルユース②）することにより、さらに大きな研究成果が期待されるため別途申請書を提出する。

6. 利用した装置

FE-SEM

7. 利用の期間 平成 23年 12月 15日～平成 24年 3月 31日

8. 成果の概要（特許・製品化・共同研究への進展など）

継続課題の進展に期待するところが大きいですが、特許、製品化、共同研究実施の際に後日報告する。

9. 社会・経済への波及効果の見通し

まだ基礎的なところの研究を行っているため最終製品の目処が立っていない状況であるが、最終的に製品製造工程に適用できれば、社会・経済への波及効果は大きいと考えられる。

10. 本報告書の公表

2年後に公表

◆下記、アンケートにご協力をお願いいたします。

1. 今後の利用希望

FE-SEM、耐摩耗性評価が可能な設備

2. ユーザーサポートで必要と考えられること

特に問題はありません。

3. 施設利用に係る感想・改善を希望すること

非常に良好と感じています。

4. 文部科学省の共用ナビ (<http://kyoyonavi.mext.go.jp/>) に対する感想・改善について

(○) 活用した ( ) 活用しなかった

感想など：非常に見やすいと思います。

5. その他

この報告書の内容は公開されます。本学の施設を利用し成果が上がっている場合にはその事実がわかるようにご記載ください。ただし、非公開としたいノウハウなどは記載いただく必要はありません。秘密保持協定により本報告書の内容を公開するために所属長の了解を要する場合は以下に記名捺印ください。

本報告書の内容を公開することに同意いたします。

(申込者の所属長の) 所属名

職 名

氏 名

㊟

以上

送付先

380-8553 長野市若里 4-17-1 信州大学 カーボン科学研究所

共用促進事業運営委員長 教授 橋本佳男

tel: 026-269-5230

fax: 026-269-5388

e-mail: hashimt@shinshu-u.ac.jp